会員のひろば

題字：森　和恵

◇暑中お見舞い申し上げます。

「育ちと学び」が届きました。拙い授業で恐縮ですが、素敵な記事にして頂いて、誠にありがとうございます。気恥ずかしさもありますが、楽しく拝読しました。「生徒と共に学ぶ現在」を記録できて、大変嬉しいです。二学期が始まったら、生徒たちにも紹介します。「クラスのことが記事になるよ」と宣伝しておいたので、楽しみにしていると思います。大先輩の瀧口さん、倉林さんから素敵なメッセージを頂き、励みになります。本当にありがとうございました。

（高崎工業高校・田中立仁）

◇一つ一つの記事が示唆の多い内容でした。特に、田中立仁先生の授業は魅力的で、私の職場で“教育”“人間の関係作り”のテーマで講演して欲しいくらい。

「子ども食堂」をテーマにした3回目の子どもの貧困関連の集まりで気になったのは、確かに一歩ずつ前進はしているが、当初の対象者を見えないからといって、おきざりにされる方向に行かないで欲しい。学校現場の先生方の参加できる条件を。

（玉村町・深澤尚伊）

◇実践部会を（例えば、子どもたちの無料塾、子ども食堂とか）立ち上げたらどうでしょうか。

（高崎市・冨田英子）

◇残暑お見舞い申し上げます。

以下の本が有益でした。

一、　暉峻淑子「社会人の生き方」「対話する社会へ」（ともに、岩波新書）

二、　今野晴貴「ブラック企業」（ちくま文庫）

三、　NHK取材班「朽ちていった命」（新潮文庫）

東海村臨界事故で亡くなった被害者と医師の八三日間の凄絶な記録。

四、　田澤雄作「メディアにむしばまれる子どもたち」（教文社）

「育ちと学び」に取り上げるに足る書です。

（高崎市・金井秀行）

《編集部より》金井さん、ありがとうございました。早速、資料文献コーナーに取り上げて詳しく紹介してもらいました。

◇（近現代史ゼミ）フィールドワークでは、お世話になりました。今回、一番びっくりしたことは、一九三一年以来一般農民を含む中国人約四万人が日本に強制連行され、全国各地で過酷な労働を強いられたこと、そして一九四五年四月末にその中の二八〇人の中国人が太田の西長岡に強制連行され、おもに中島飛行機の地下工場のためトンネルの発掘作業のために使われたこと。しかもほとんどの人が目や体に障害があり、歩行不能者も多数いたこと、列車にすし詰めにされて連れてこられ…、命を落とされた方も多かったこと。

そして、次に見学したのが、中島飛行機創業者が両親のために建てた大邸宅…個人の家とは思えぬ贅を尽くした見事な家！！連行された中国人と大邸宅が両極端で結びつき心に残りました。たくさんの資料、ありがとうございました。

（前橋市・定方佐知子）

「子どもの野外活動部会」で稲刈り体験しました。
倉渕の古代米です。　（高崎市・北川　淳）